

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の個々の状態に必要なレクリエーションや行事の実行が少ない為、職員が個々の利用者の心身状況に応じたレクリエーションや行事を計画し実行していきたい。	○ミッケルアートによる回想法等を利用し、利用者個々の心身状況に応じたレクリエーションや行事を計画・実行し、充実した余暇活動の支援の実践を行う。 ○余暇活動支援に関する職員の意識、技術を向上させる。	現在、ミッケルアート回想法をレクリエーションに取り入れ計画的に行っている。プログラムを使用した多彩なレクリエーションや行事を行い、また家族に参加して頂く行事も計画し、職員の意識向上と利用者様の余暇活動に関する満足度向上に努めていく。	12 ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。